

平成25年度

事務事業評価表 A（平成24年度の実績評価）

記入年月日  
平成 25 年 7 月 1 日

事務事業名		岩瀬体育館管理運営事業				区分		事務事業No.	30423417	
						分野別主要事業		課内No.	17	
		政策体系上の位置付け				未来プロジェクト事業		主管課		
政策体系	総合計画の施策名	304	生涯スポーツ活動の振興			市長マニフェスト事業		所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			合併建設計画事業		所属課	スポーツ振興課 34	
	施策名	4	生涯スポーツ活動の振興			新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		課長名	笠倉 剛	
	基本事業名	2	スポーツ施設の充実と有効利用			<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		グループ	スポーツ振興G	
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	塚本 真吉	
予算科目	会計	款	項	目	事業	単年度のみ				
	1	10	6	2	1	単年度繰返し ( )年度～ )				
法令根拠	一般会計 体育館管理事業(岩)					期間限定複数年度( )年度～ )年度)				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標

手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容)		② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動	
	所在 桜川市岩瀬2685-14 延床面積 3,700㎡(アリーナ・トレーニングルーム・ステージ・放送室・ランニングコース・観客席・ミーティングルーム)		施設の維持管理、委託契約、安全管理 体育館の貸出	
	(事務事業の手段) 桜川市が管理運営する事業です。管理運営には、市職員2名臨時職員1名(5名採用)が従事しています。体育館の利用にあたっては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用することが出来ます。利用者からは減免に該当しない団体においては使用料金を徴収しています。		⑥ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
			単位	
目的	③ 対象(誰、何を対象にしているのか)		⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	市民		ア 人口	
			イ	
			ウ	
結果	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	体育館を利用してスポーツを楽しむ		ア 施設・器具不具合件数	
			イ	
			ウ	
⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
スポーツを安心してできる環境確保ができた		ア スポーツ施設を利用した人の苦情数		回

(2) 指標値の推移

区分	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)	
⑥活動指標	ア 回	307	145	223	250	250	250	250	
	イ 日	307	145	223	250	250	250	250	
	ウ 人	59,379	27,372	25,784	30,000	30,000	30,000	30,000	
⑦対象指標	ア 人	47,580	46,466	46,208	47,000	47,000	47,000	47,000	
	イ								
	ウ								
⑧成果指標	ア 件			0	0	0	0	0	
	イ								
	ウ								
⑨上位成果指標	ア 回			3	0	0	0	0	

(3) 投入量(事業費)の推移

区分	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)		
事業費	財源内訳									
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	使用料・手数料	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	34,419	41,691	31,240	35,380	35,380	35,380	35,380		
事業費計(A)	千円	34,419	41,691	31,240	35,380	35,380	35,380	35,380		
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	1	1	1		
	述べ業務時間	時間			913	913	913	913		
	人件費計(B)	千円	0	0	2,776	2,776	2,776	2,776		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	34,419	41,691	34,016	38,156	38,156	38,156	38,156	
事業費の内訳	24年度事業費実績(千円)		25年度事業費 予算(千円)		26年度事業費 計画(千円)		27年度事業費 計画(千円)		28年度事業費 計画(千円)	
	一般職非常勤(報酬)	6,103	一般職非常勤(報酬)	6,452	一般職非常勤(報酬)	6,452	一般職非常勤(報酬)	6,452	一般職非常勤(報酬)	6,452
	需用費(光熱水費含む)	19,203	需用費(光熱水費含む)	22,994	需用費(光熱水費含む)	22,994	需用費(光熱水費含む)	22,994	需用費(光熱水費含む)	22,994
	委託料	5,934								
	合計	31,240	合計	35,380	合計	35,380	合計	35,380	合計	35,380

(4) 当該年度の実施内容

	25年度の事業内容	26年度の事業内容	27年度の事業内容	28年度の事業内容
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する	施設の維持管理を徹底し、大型スポーツ機器等については、新たな助成対象事業により取り組みを行う予定である。	施設の維持管理を徹底し、大型スポーツ機器等については、新たな助成対象事業により取り組みを行う予定である。	施設の維持管理を徹底し、大型スポーツ機器等については、新たな助成対象事業により取り組みを行う予定である。	施設の維持管理を徹底し、大型スポーツ機器等については、新たな助成対象事業により取り組みを行う予定である。
分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業	➔			

事務事業名	岩瀬体育館管理運営事業	事務事業No.	30423417	所属課	スポーツ振興課
-------	-------------	---------	----------	-----	---------

**【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)**

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 岩瀬体育館の建設に伴い、平成6年度から施設の利用が開始された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 経年使用の為にアリーナ床・機器の交換要望多数あり

**【See】 2. 評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 体育館の維持管理、市民が体育館を利用してスポーツを楽しむことができるようになることで、「市民がスポーツを安心してできる環境の健康、スポーツを楽しむ機会の増加」に結び付くことができる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 対象が市民なので妥当である。
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 無駄のない施設活用に利用調整の密度を上げる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 類似事業なし <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない 方法としては、指定管理者制度の導入
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない 益者負担の原則から、施設使用料の見直しを検討すべきである。
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき見直しを行ない、公平性を確保する。

**【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)**

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。無駄なく施設の活用ができるよう利用調整の密度を上げる。受益者負担の原則から施設料金の見直しも検討すべきである。																										
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																										
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○																								
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
安全管理をするうえで必要不可欠な工事費、修繕等の予算獲得が困難な状況であるが、国等の補助事業を理解し活用していくことも必要であると思われる。																											

**【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項**

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>